

小中一貫教育本格実施！ 町内5学園、開園！

小中一貫・CS 通信

NO.1 H31.4.26 幕別町教育委員会 学校教育推進員

元号が変わる今年、小中一貫教育が本格実施となりました。令和元年が小中一貫学園元年となります。教育委員会でも学校教育推進員が正式に小中一貫・CS 担当となり、連絡・相談の窓口や対外的な対応、広報活動等を担うこととなりました。

そこで、広報活動の第一弾として、小中一貫・CS 通信を発行いたします。定期的に各学園の取組を紹介していきますので、以後よろしく願いたします。

各学園の総会、一斉に開催！ 4/19

4月19日、幕別町学校教育振興会総会のあと各学園の総会が一斉に開かれました。各学園とも、本格実施に向けて真摯な議論が交わされ、今年度の年間計画等が定められました。各学園の条件やこれまでの取組の違いから、議論のポイントや雰囲気はそれぞれ違いましたが、小中一貫教育本格実施のスタートとなる重要な区切りとなりました。

まくべつ学園では、昨年の活動報告、今年度の計画、組織体制等が確認されました。話し合いでは、運営の仕方について意見が出されましたが、小中一貫教育を進めることや学園の意思決定の仕組みについて改めて確認されました。その後行われた部会では、意欲的な話し合いが進められ、今後の取組の展望が明らかとなる部会となりました。



札内東学園では、三校の転入職員紹介の後、秦学園長の挨拶で総会が開始され、事務局・各部会の活動報告、会計報告の承認、今年度の活動計画、会計予算等が可決されました。質問・意見はほとんど出ませんでした。予算が少なくなったことに対しては意見と要望が出されました。

その後の部会では、温かい雰囲気の中、顔合わせや相談が進み、順調な滑り出しとなりました。

糠内学園では、長年の連携教育の積み重ねをもとにスムーズな学園移行が実現し、この日の総会も滑らかな進行で議事が進みました。万全に準備された議案と事務局の丁寧な説明で今年度の活動計画や新しい部会体制が確認され、本格実施の幕開けにふさわしい総会となりました。その後の部会でも、和やかな話し合いが進められました。





さつない学園は、最多の学校数と教職員数を抱える大所帯だけに体育館での開催となりました。学園長挨拶の後、これまでの活動報告や今年度の活動計画が話し合われましたが、具体的な内容については各部会にゆだねることとなりました。また、話し合いの進め方や意思決定の仕組みについて意見や要望が出されました。

その後の部会では、時間をかけて丁寧な話し合いが続けられ、それぞれの考えを交流する貴重な機会となりました。小中一貫教育を進めることについて、改めて確認

する場ともなり、本格実施への大切な区切りとなりました。

ちゅうるい学園では、昨年までの多彩な取組をもとに活動報告がなされ、今年度の年間計画もスムーズに確認されました。

CSを見すえた部会体制の改編も提案されましたが、従来の合同分掌部会長と新設の部会長の役割分担について精査する必要があるため、この件については持ち越しとなりました。

その後の部会の話し合いは順調に進み、新たなスタートを切りました。



今年度の重点は、小中一貫教育の充実 ～ 今後の取組に向けて ～

各学園の総会・全体会を済ませ、いよいよ今年度の具体的な取組を始める時期となりました。今年は、コミュニティ・スクールも始動しますが、まずは小中一貫教育の取組を充実させることが今年度の最重点となります。

- 小中の先生方で話し合ったり交流したりする機会を多くもつ
- 小中相互の乗り入れ授業をしっかりと行う
- 9年間を見通した教育課程作成に向け、系統表の精査を進める
- 学園要覧の作成、学園便りの発行・配布など、取組を広く知らせる広報活動を進めるなどなど、小中一貫教育の充実を図っていくことが大事になります。

CSに向けて今年度やることは ～

一方、学園ごとの学校運営協議会が設置されコミュニティ・スクールが発足することとなりますが、本格実施される平成33年度（令和3年度）に向けての準備が、今年度の取組となります。具体的には、

- 学校経営方針を承認する経験を積んでもらうこと
 - 運営協議会委員の皆さんに、CSについて学んでもらうこと
 - 運営協議会委員の皆さんに、熟議を二度三度と経験してもらうこと
 - CSについて啓発する広報活動を進めること、
- が主な取組となります。焦らず、じっくりと進めていきましょう。

お知らせ

小中一貫・CS連絡会議 6月11日 18:00
札内コミュニティプラザ